# 概要と文字

主にコーリプス人が話している言語。現在ではほぼ使われていないサンドアイランド語が母語。

なお、サンドアイランド語はサンドチャンド語族に属しており、派生言語は現在サンドアイランド周辺で話されている「イーラット語」、かつてショルテ帝国で話されていて、現在はその植民地だった地域で話されている「ショルテ語」、そしてコーリプス語である。

## 母音と子音

### 母音

a,i,u,eの4つ

### 子音

c,t,n,h,m,r,g,z,j,v,d,p

カ行(k)、サ行(s)が無く、代わりにカ行とサ行兼用のc行がある。

ヤ行(y)が無い代わりにジャ行(j)を使う。

ワ行(w)、バ行(b)が無く、代わりにワ行とバ行兼用のヴァ(v)行がある。

## 文字

それぞれの子音は以下の文字に対応している。

c=ψ

t=#

n=Ξ

h=д

m=Γ

r=я

g=ξ

z=ж

j=∂

v=з

d=Δ

p=й

大文字はなく、矢印をつかって母音を表すのが最大の特徴。

oを表す母音はない。省略できるという訳でもなく、母音そのものがない。そのため、コーリプス語で「コーリプス」は「クーリプス」と発音する。

↑…a

→…i

↓…u

←…e

促音便は子音を重ねるのではなく、"°"を使う。

文末には"\_"(アンダースコア)を付ける

疑問符は"$"

# 文法

主語を省略することができ、その際には肯定文なら1人称に、疑問文なら2人称になる。

文型は(S)(O)V(C)となる。()はない場合もある。

疑問文にする時は肯定文の文頭に疑問詞を付ける(英語でいうWhat,Where,Whyなど)

SVの順番を入れ替える必要はない。

## 前置符

英語とは違い、時制や進行形などを表す際に記号を付ける

否定…!

過去…>

未来…<

進行形…~

使役(～させる)…⊂

受け身(～される)…⊃

1人称以外主語+使役前置符+動詞(現在形)で命令文になる。

つまり「○○(1人称以外)は□□に～させる(現在形動詞)」という構文は作れない。

1人称以外主語+⊄+動詞(現在形)で否定命令文(禁止文)になり、「～してはいけない」となる。英語で言うと「must not～」と同じ。⊂に/を入れることで否定を表す。

## 例文

※分かりやすいように単語を英語に置き換えたもの

※()は省略可

・私は昼食を食べた

コーリプス語:(I) Lunch >eat\_

英:I ate lunch.

・あなたは明日何をしますか？

コーリプス語:What (You) <do tomorrow$

英:What will you do tomorrow.

・あなた達はここで遊んではいけません。

コーリプス語:Your here ⊄play\_

英:Mustn’t your play here.